

第 15 回 特発性心室細動研究会 (J-IVFS)

日 時 : 平成 29 年 2 月 11 日 (土) 13:00-17:00

場 所 : 東京・大手町サンケイプラザ 4F ホール

(東京都千代田区大手町 1-7-2 Tel : 03-3273-2257~9)

～ プログラム ～

13 : 00~13 : 05 開会の辞

青沼和隆 (筑波大学)

13 : 05~13 : 20 事務局報告 登録症例の経過観察 (Brs&IVF) および EPTesting の中間報告について
○関口幸夫 (筑波大学 医学医療系 循環器内科)

13 : 20~14 : 20 一般演題 1. <1 演題/発表 9 分/質疑 3 分>

“特発性心室細動 (Brugada 症候群を除く) のリスク評価の為の薬物負荷試験について “

座長 : 渡邊英一 (藤田保健衛生大学)

草野研吾 (国立循環器病研究センター)

1-1. セマフォリン 3A 遺伝子異常を有する特発性心室細動症例の特徴と薬物反応性について

広島大学病院 循環器内科

○中野由紀子

1-2. 原因不明の心肺停止蘇生後・失神例に対する徐脈化後のピルカイニジド、ベラパミル併用負荷の検討

聖路加国際病院 循環器内科

○會田 敏

1-3. Neuro-modulatory provocation test to unmask ventricular fibrillation triggering ectopic in early repolarization syndrome: implications for diagnosis and ablation

Cardiology Department, Asahikawa Medical University, Hokkaido, Japan

○Ahmed Talib

1-4. Brugada 症候群及び早期再分極症候群患者における薬物負荷試験による J 点高変動と ICD 適切作動の関連

大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座

○近藤秀和

◆ 座長まとめ

14 : 20~14 : 35 休憩 (15 分) ※機器展示を開催致しております。

14 : 35~15 : 40 一般演題 2. <1 演題/発表 9 分/質疑 3 分>

“Brugada 症候群、特発性心室細動の S-ICD（完全皮下植込み型除細動器）植込み症例のメリット・デメリットについて”

座長：西崎光弘（横浜南共済病院）

因田恭也（名古屋大学）

- 2-1. S-ICD 移植後早期の感染が否定できない創部離開に対しデバイス抜去を行わず対応した症例
九州大学病院 ハートセンター 血液・腫瘍・心血管内科
○深田光敬
- 2-2. VF storm を来した Brugada 症候群 2 症例 ; Transvenous 症例と Subcutaneous 症例
岐阜大学大学院 医学系研究科 再生医科学 循環病態学
○中島 孝
- 2-3. 皮下植え込み型除細動器 (S-ICD) における誤作動発生リスク減少を目指した術前スクリーニングの強化の検討
東北大学 循環器内科学
○中野 誠
- 2-4. Brugada 症候群における皮下植込み型除細動器植込み前の薬剤負荷試験中のスクリーニング検査の有用性について
国立循環器病研究センター 心臓血管内科 不整脈科
○鎌倉 令
- 2-5. 当院における S-ICD 植え込みの経験
岡山大学 循環器内科
○橘 元見

◆ 座長まとめ

15 : 40~15 : 55 休 憩（15 分） ※機器展示を開催致しております。

15 : 55~16 : 55 イブニングセミナー（共催：ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社）

座長：清水昭彦（山口大学）

“The subcutaneous ICD: first choice for both primary and secondary SCD prevention in patients with IVF”

Reinoud Knops M. D.

(Academic Medical Centre, Amsterdam, The Netherlands)

16 : 55~17:00 閉会の辞

平岡昌和（取手相馬保健医療センター 医師会病院）